

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷口中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が目標に達していない。 <指導上の課題> 各教科の授業内で基礎基本事項の反復練習の時間を十分に確保できていない。	⇒ 自校のチャレンジカップ(基礎基本に特化した一問一答テスト)を行う。【年4回(定期テスト前)5教科で実施】 生徒にとってわかりやすい授業のため、授業におけるICTを活用し、ポイントをしぼった授業展開を行う。【毎回】 スタディサプリを活用した宿題を計画的に配信する。【週に1回配信】
思考・判断・表現	<学習上の課題> R6年度さいたま市学習状況調査「生活習慣に関する調査」における「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」の質問において、R5年度の自らの値を維持すること。 <指導上の課題> 「自力解決」と「協働解決」の学習時間を授業内で十分に確保できていない。	⇒ 生徒が課題に取り組む際、評価の観点を教師が明示し、つまずきに対して個に応じたアドバイスを行う。【毎回】 「深い学びの実現」を図り、「自力解決」と「協働解決」の学習時間を授業内で十分に確保する。【毎回】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)